

# 松中魂！

令和4年度10月号



やる気・根気・元気・連帯

草津市立松原中学校

〒525-0029 草津市下笠町 110 番地

TEL : 077-568-0246 FAX : 077-568-3479

HP <http://www.matsubara-j.sk.ed.jp/>

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果から

今年度4月に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査(国語・数学・理科および生徒質問紙)」について、本校の調査結果の検証を行い、成果と課題、今後の取組の方向性を次のようにまとめました。また、このことについて、今月初めに開催した学校運営協議会において協議会委員の皆さんにご意見をいただき、本校の学ぶ力向上策について見直しを行いました。

### 【成果A】〔教科に関する調査にみる成果〕

国語では、前年度比で正答率が増加傾向を示した。数学では、知識・技能、問題形式の選択式、短答式で全国平均を上回った。また、「国語・数学の勉強は大切だと思う」「国語・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と認識している生徒が全体的に多かった。理科では、「授業で予想して観察や実験の計画を立てている」という生徒が多かった。

### 【成果A】〔Aの成果につながったと考えられる施策や取組〕

「めあて」と「ふりかえり」を授業の柱に据えて展開を図るとともに、授業はじめの基礎学習の反復や事後の宿題等の内容を工夫し、次時につながりをもたせる取組を継続して行った。また、基礎・基本の定着を図るとともに、学習した内容を社会生活にどうかすかを生徒相互に考えさせる機会を設けるなど、工夫ある授業づくりを進めてきた。

### 【成果B】〔生徒質問紙にみる成果〕

「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「今住んでいる地域の行事に参加している」「1・2年次の授業でPCやタブレットなどのICT機器を週1回以上使用した」「授業で自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立などを工夫して発表していた」という項目が全国平均を上回った。

### 【成果B】〔Bの成果につながったと考えられる施策や取組〕

生徒指導・人権同和教育・特別支援教育の融合的な実践を進める中で相談体制の充実を図り、機を逃さない相談や支援を行うとともに、学校運営協議会制度を通じて地域の教育力を活用した教育活動を行い、地域と共にある学校づくりに努めている。タブレット等のICT機器の活用はもとより、学びの内容を家庭学習に円滑に接続できるよう工夫している。

### 【課題A】〔教科に関する調査からみえた課題〕

国語、数学、理科それぞれに共通する項目として「授業が好きだ」「授業の内容はよくわかる」が全国平均を下回っている。また、数学、理科では「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」が同じく全国平均を下回っている。わかる授業の実践とともに読む力、論理的に考える力、書く力、自分の思いが相手に伝わるよう表現する力の育成が課題である。

### 【課題A】〔Aの課題を克服するための施策や取組〕

教育活動全体において、生徒自ら主体的・対話的に取り組む活動を推進し、協働的な活動やディベート、プレゼンテーションやビブリオバトル等の言語活動の充実をめざした授業の構築を教科横断的な視点で展開していく。学習した内容を身近な生活の中でいかに活用していくかを具体的に示し、その成果を実感できる授業づくりを進める。

### 【課題B】〔生徒質問紙からみえた課題〕

一日の生活リズムや「自分には良いところがあると思う」といった自尊感情、読書習慣、「学習した内容についてわかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげる」といった学習活動が全国平均を下回った。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」という項目が全国平均より高いにも関わらず、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」が全国平均を下回った。

【課題B】〔Bの課題を克服するための施策や取組〕

生活リズムや学習習慣の定着に係る自己指導力の向上を根幹に据え、学校での学習と家庭学習や生活との統合性を図る教育活動を進める。また、スクールESD くさつ推進事業を通じて、地域課題解決学習に取り組み、主体的に学ぼうとする生徒の育成に努めるとともに、地域の一員としての意識と行動力の育成をめざす。

【学ぶ力向上策①】〔学びを実感できる授業づくり：今後の取組〕

主に国語・数学における基本的な演習を継続的に授業内で取り入れ、基礎学力の補充と定着に努める。また、授業のまとめとして、ふりかえりシートを活用し、生徒の学習における理解度を定期的に確認する。各授業における学習課題を提示するとともに、その時間の活動内容を明確にする。学習者用端末を効果的に活用し、協働的な学び、個別最適な学びの機会を取り入れ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善に努める。また、各教科でプレゼンテーション活動等を積極的に取り入れ、生徒が自らの考えや意見を発信する機会をもてるようにする。

【学ぶ力向上策②】〔学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり：今後の取組〕

授業中の教員からの説明時間を3分の1以内におさえ、生徒の活動時間を十分に確保するとともに、生徒が調べたことをみんなの前で発表したり、発表した内容をもとに意見や考えを出し合ったりする授業展開に努める。

生徒の発言を引き出す発問の工夫や、生徒の発言をもとに効果的なやりとりができる授業展開に努め、生徒の気づきや発見を促すことができるようにする。

教科を越えて教員相互に授業を参観し合い、教員のファシリテーターとしてのスキル向上に努める。

【学ぶ力向上策③】〔子どものために一丸となって取り組む学校づくり：今後の取組〕

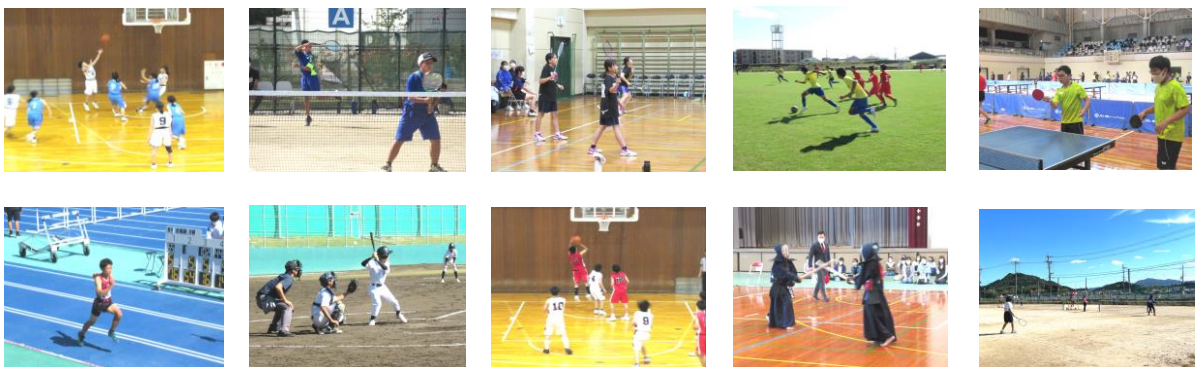
国語や英語でのビブリオバトルに取り組む。また、学校司書、図書館ボランティアと連携して学校図書館の「読書センター」としての機能をより充実させるとともに、各授業で学校図書館を活用することで「学習情報センター」としての機能も充実させていく。

公共図書館と連携する中で「出張ブックトーク」を依頼し、生徒の読書習慣の向上に役立てる。また、生徒会図書委員会における活動をより一層活性化させ、読書に関する取組を推進する。

朝の会までの時間帯で、1年生は読書、2年生は基礎学習プリント（ガッテンプリント含む）、3年生はセミナー（5教科復習プリント）学習を継続して行う。

＜中体連秋季大会の様子＞

10月14日（金）、秋晴れのもと、県内各会場において中体連秋季大会が開催されました。この大会から、2年生・1年生の新チームで参加することになりました。選手・応援ともに先輩から受け継いだチームの雰囲気と松中魂を大切にしながら、緊張しつつも、集中して競技に臨んでいました。



＜草津市公式LINEについて＞

草津市では、市のイベントや市政情報、災害時の緊急情報など、市からのお知らせを草津市公式LINEで配信しています。このたび、LINE登録について広報課より周知依頼がありました。

＜お問い合わせ先：草津市広報課 ☎561-2327＞

